

完了後の評価個表

整理番号	12
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	岐阜県
地域（地区）名	揖斐川	事業実施主体	県、市町、森林組合等
関係市町村	大垣市ほか3市10町	管理主体	県、市町、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H30年度（8年間）	完了後経過年数	5年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地区は、岐阜県の南西部に位置し、大垣市、海津市、垂井町、関ヶ原町、養老町、神戸町、揖斐川町、大野町、池田町、本巣市、北方町、瑞穂市、安八町、輪ノ内町の4市10町から構成されている。</p> <p>本地区の森林蓄積は、28,064千m³で、全県下森林蓄積の14.6%を占め、このうち国有林が1,565千m³で5.6%、民有林が26,499千m³で94.4%となっている。樹種別面積は、スギが17.8%、ヒノキが17.9%と、県全体（スギ：15.9%、ヒノキ：26.5%）と比較すると、ヒノキの割合が低くなっている。また、天然林の割合が60.5%と、県全体の51.0%に比べて高いことも特徴である。</p> <p>本地区の総面積184千haのうち森林面積は131千ha（森林率71%）で、国有林は10.4千ha（8.0%）、民有林は120.4千ha（92.0%）を占め、人工林は43千ha（人工林率36%）となっている。また、人工林の齢級構成は、11齢級をピークとした構成となっている。</p> <p>本地区は、全国の状況と同様に森林技術者の減少等の厳しい状況にあり、必要な森林施業が遅れ、森林が有する国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮が不十分となっている可能性がある。しかし一方で、近年、県内で合板工場や大型製材工場、木質バイオマス発電所が稼働し県内の木材需要が増大しているため、豊富な森林資源を活かした安定的な木材供給への期待が高まっている。</p> <p>このため、本地区では、揖斐川地域森林計画に基づき、より効率的に施業を実施するための基盤整備や、高まる木材需要に対応するために意欲と能力のある林業事業者による集約化された計画的な森林施業を促進しているところである。</p> <p>本事業は、森林の有する多面的機能の維持増進を図るために、森林計画等に基づく、造林、保育、間伐等の適切な森林整備を実施するとともに、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・ 主な事業内容 森林整備 3,486ha 人工造林、鳥獣害防止施設、下刈り、除伐、間伐等 路網整備 904m 林道開設</p> <p>・ 総事業費 1,715,241千円（税抜き 1,607,735千円） （平成22年度の評価時点 1,578,000千円）</p>
-----------------	--

<p>① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和6年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用と差が生じた理由は、費用便益分析で使用する単価の変化や労務単価の上昇、優先度の高い箇所から実行したことに伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総便益（B）25,775,131 千円(平成22年度の評価時点 12,462,825 千円※)</p> <p>総費用（C） 3,424,922 千円(平成22年度の評価時点 1,991,557 千円※)</p> <p>分析結果（B／C） 7.53（平成22年度の評価時点 6.25 ※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>人工造林、間伐等によって3,486haの森林が整備され、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られるとともに、将来にわたっての優良な地元産材の安定供給が確保された。</p> <p>林道開設により2路線904mの路網が整備され、森林整備事業地までの到達時間の短縮や木材運搬等が容易になったことで、作業や木材搬出の効率化が図られた。</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の発注により雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。</p> <p>整備された林道は、適切に維持・管理されており、維持管理状況は適切である。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、森林の有する多面的機能が発揮されている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地区の林業就業者数は、平成23年度の1,161人から令和5年度は940人に減少している。こうした状況の中、林業の現場では、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが必要となっている。さらに、森林施業に資する林道及び森林作業道の連結によって効率的・効果的な森林施業を推進することが必要である。</p> <p>また、県内では大規模な木材加工施設やバイオマス発電施設等が稼働し、木材需要が拡大しており、木材の安定的な供給を通じて、地域経済の振興に寄与していくことが求められている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を高度に発揮させるため、耐久性と利便性に富む路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植え付け効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入、保育作業の省力化など低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要である。また、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>路網整備においては、近年頻発する豪雨に対して災害に強い林道の整備を推進する必要がある。</p> <p>地元の意見：</p>

	<p>(岐阜県)</p> <p>森林整備事業の実施によって水源涵養や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。今後も森林資源の造成や県土の保全のために森林整備が必要である。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 生産された優良材を地域に安定供給することにより林業・木材産業の振興に寄与している。また、適正な間伐により、森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られるほか、主伐後の更新や間伐、搬出等に伴う路網整備が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 計画的な間伐の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、優良材を安定的に生産し、また森林の有する公益的機能の維持増進が図られていることから、事業の有効性が認められる。</p>

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

地域(地区)名：揖斐川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,927,074	
	流域貯水便益	1,991,182	
	水質浄化便益	6,162,984	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,614,171	
環境保全便益	炭素固定便益	1,665,819	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,669	
	木材利用増進便益	3,185	
	木材生産確保・増進便益	2,198,664	
森林整備経費縮減便益	森林管理等経費縮減便益	2,953	
	森林整備促進便益	206,311	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	1,119	
総 便 益 (B)		25,775,131	
総 費 用 (C)		3,424,922	
費用便益比	$B \div C =$	$\frac{25,775,131}{3,424,922} = 7.53$	

森林環境保全整備事業 揖斐川地域(岐阜県)概要図

